ため池ハザードマップ

通谷池

このマップは、通谷池が晴天時の地震等により決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性があり、避難を含めた注意が必要です。

凡例

- 指定避難所
  災害の種類や状況に応じて開設する施設
- 指定緊急避難場所
  災害時など一時的に避難できるオープンスペースとして機能を果たす場所
- 高速道路
- 国道・県道
- 到達時間（1分）
- 破堤箇所
- 学校区
- 水部

ため池浸水想定区域（最大浸水深）

- 5.0m 以上
- 2.0 ～ 5.0m 未満
- 1.0 ～ 2.0m 未満
- 0.5 ～ 1.0m 未満
- 0.5m 未満

ため池浸水想定区域（浸水範囲）

- その他のため池

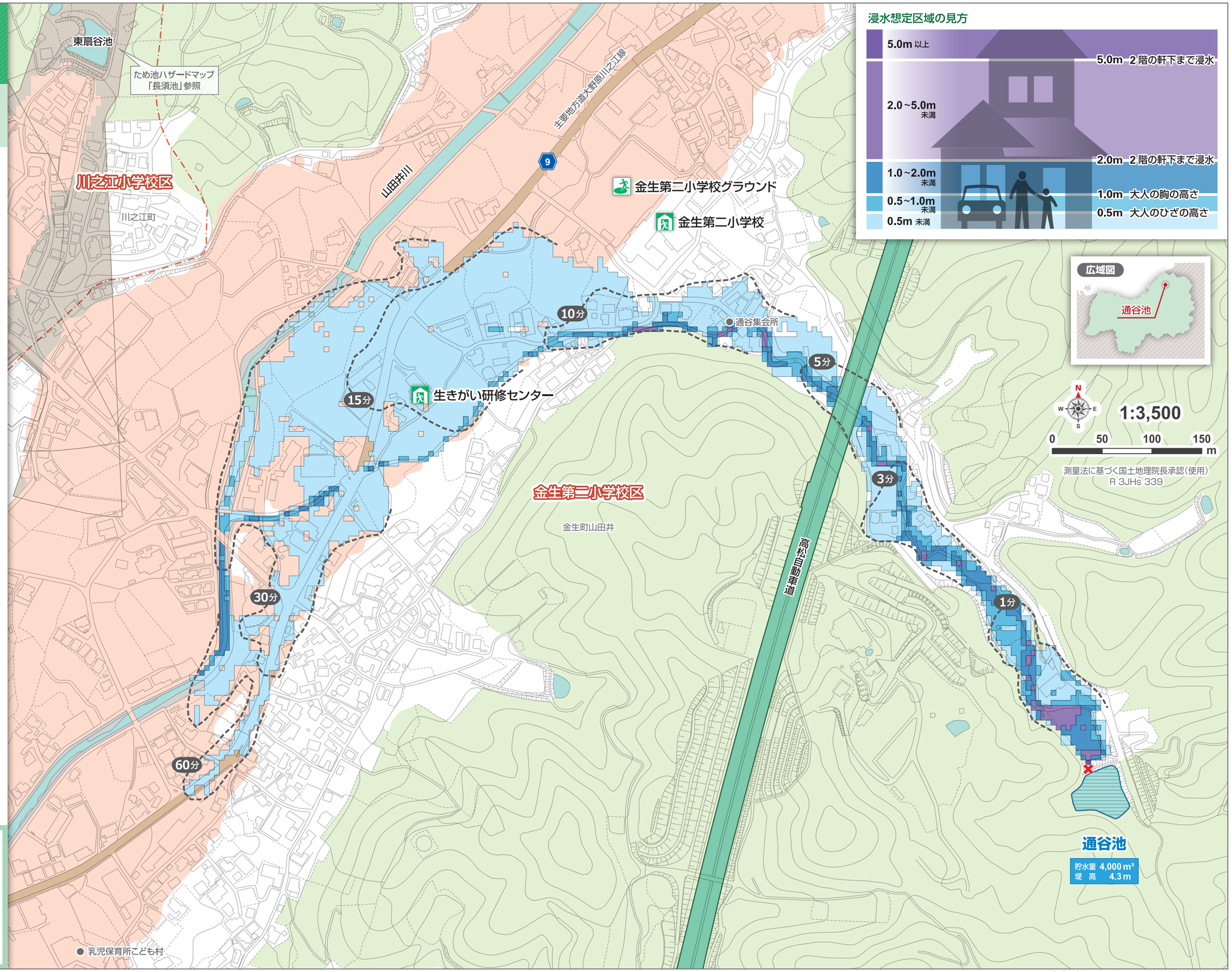
土砂災害（土石流）

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

緊急連絡先

- 四国中央市役所 0896-28-6000
- 四国中央市消防署 0896-28-9119
- 四国中央警察署 0896-24-0110
- 愛媛県四国中央土木事務所 0896-24-4455

浸水想定区域の見方



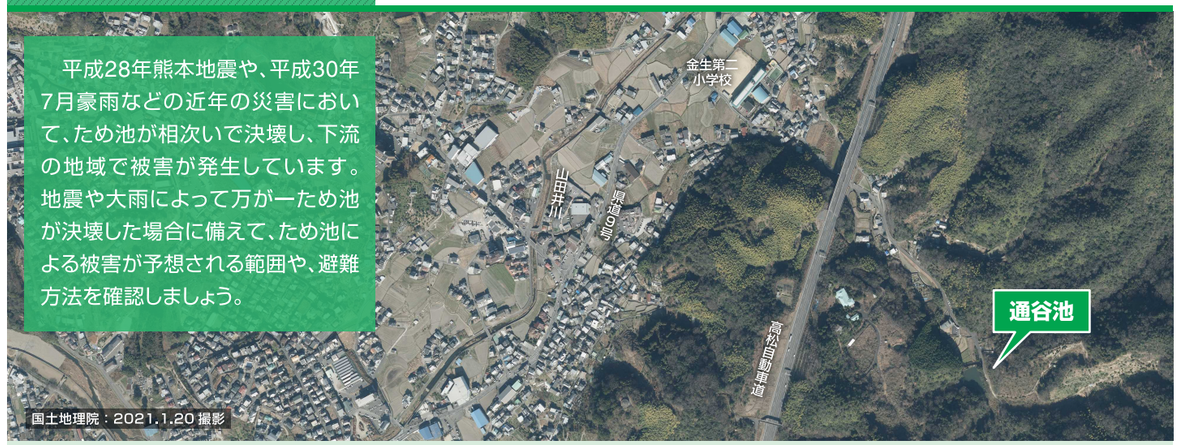
作成／令和４年２月　四国中央市 経済部 農林水産課

ため池ハザードマップ

とおりたにいけ
通谷池

作成／令和４年２月
四国中央市
経済部 農林水産課
TEL：0896-28-6324

平成28年熊本地震や、平成30年7月豪雨などの近年の災害において、ため池が相次いで決壊し、下流の地域で被害が発生しています。地震や大雨によって万が一ため池が決壊した場合に備えて、ため池による被害が予想される範囲や、避難方法を確認しましょう。



わが家の避難メモ

❶ わたしの家は・・・

浸水の深さ

メートル

ため池決壊後の到達時間

分後

❷ 避難のタイミングは・・・

身の危険を感じたら

- ☐ **大規模な地震** が発生したとき
  ため池に異常 がみられたとき

警戒レベルが発表されたら

- ☐ **警戒レベル３** で避難する（高齢者等避難）
- ☐ **警戒レベル４** で避難する（避難指示）

❸ 早めの立退き避難先は・・・

近くの指定緊急避難場所

❹ 逃げ遅れた場合は・・・

2階以上
近くの丈夫な建物

》もし、ため池が決壊したら

- 大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
- 建物や車は押し流されます。
- 道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。



●氾濫シミュレーションの条件

対象池が満水のとき、大地震など何らかの原因で瞬時に決壊し、堰（せき）を切ったように水が流れ出したものとしています。

※対象池以外のため池による決壊、周辺地域の河川や水路の氾濫、土砂災害などは考慮していないため、実際には違う流れとなる場合もあります。

》ため池決壊の原因（地震と大雨）

地震

地震による強い揺れによって、堤防に亀裂や陥没などが発生したり、地盤が液状化してため池が決壊するおそれがあります。

大雨

集中豪雨や長雨、土砂災害や流木などによって、ため池の水位が上昇すると、堤防で漏水が起こったり、越水した水の勢いで堤防が侵食されて、ため池が決壊するおそれがあります。



平成30年7月豪雨
鳥首池（愛媛県宇和島市）における決壊

》ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

裏面の地図で、自分の家で想定される浸水の深さを確認し、避難の方法を考えましょう。



浸水の深さ	浸水前に必ず避難	避難先
5m 以上の浸水 ●3階以上が浸水　●水流が強い場合には、木造家屋が倒壊する危険がある	→	**浸水しない安全な場所へ**（指定緊急避難場所、指定避難所 高台の道路、空き地など）
2~5m 未満の浸水 ●2階が浸水　●水流が強い場合には、木造家屋が倒壊する危険がある	→	浸水しない安全な場所へ
1~2m 未満の浸水 ●1階が浸水　●水の中を歩くことは危険	時間と安全な避難経路が確保されていれば → 浸水しない安全な場所へ 自らの判断で →	**２階以上・危険のない高い建物へ**
0.5~1m 未満の浸水 ●床上浸水 ●大人の腰の高さ　●強い水流の中を歩くことは危険	必ず →	２階以上・危険のない高い建物へ
0.5m 未満の浸水 ●床下浸水 ●大人のひざの高さ　●浸水の深さがひざ上になると、歩行は危険	状況に応じて →	２階以上・危険のない高い建物へ



浸水しない安全な場所へ

- ●浸水が発生する前に安全な場所へ避難する
- ●立退き避難

・被害のおそれのない親戚・知人宅、ホテル・旅館に避難することも有効です。
・隣近所で声を掛け合って避難しましょう。



２階以上・危険のない高い建物へ

- ●自宅や近くの丈夫な建物の２階以上にとどまる
- ●垂直避難・屋内安全確保

・懐中電灯、ラジオ、貴重品、水や食べ物などを２階に持って上がりましょう。
・土砂災害の危険もある場合は、斜面からなるべく離れた、２階以上の部屋に避難しましょう。

》土砂災害や洪水時には、警戒レベルに応じて避難しましょう

大雨により、土砂災害や洪水の危険性が高まった際には、警戒レベルを用いた避難情報を発令します。
警戒レベル４「避難指示」までに必ず避難してください。

警戒レベル		行動を促す情報	住民がとるべき行動	状況
高 危険度 低	5	緊急安全確保 ※1	命の危険　直ちに安全確保！	災害発生または切迫
		警戒レベル４までに必ず避難！		
	4	避難指示 ※2	危険な場所から全員避難	災害のおそれ高い
	3	高齢者等避難 ※3	危険な場所から高齢者等は避難	災害のおそれあり
	2	大雨・洪水注意報（気象庁）	避難方法を確認	気象状況の悪化
	1	早期注意情報（気象庁）	最新情報に注意	今後、気象悪化のおそれ

※1　市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル５は必ず発令されるとは限りません。
※2　避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
※3　警戒レベル３は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

最新情報の入手先

防災・広報メール

登録用空メールアドレス
diss-mlmg-entry@bousai.shikokuchuo.jp

携帯電話などに事前登録しておけば、市からの防災・災害情報をメールで受け取ることができます。（登録無料。ただし通信料は利用者負担。）

えひめの防災・危機管理

パソコン・スマートフォン・携帯電話
https://ehime.secure.force.com/

緊急情報、気象・台風・地震・津波の情報、道路規制、避難情報の発令状況、避難所の開設状況などについて、最新情報を確認できます。

愛媛県避難支援アプリ　ひめシェルター

Android版はこちら
iOS版はこちら

防災情報や避難ルートを多言語で視覚的に表示できる県公式スマートフォンアプリです。（アプリ無料。ただし通信料は利用者負担。）